

No.	市民の意見	対応状況
1	公民館は残すと言うことだが、30年の人口動態を考えると、自治振興会の数を減らすという話はないのか。	公民館は地域活動の拠点となる場である。自治振興会のあり方は地区でお考えになることである。
2	庁舎を7つ減らして1つにするという話だが、分庁舎方式を無くすのか。	庁舎のあり方については現在検討中であるが、30年後を考えると1つでも良いと考えている。ただし、行政センター機能のうち、住民サービスの低下に繋がる窓口業務は残すことを考えている。ショッピングセンターや文化センター等、市民の集まりやすい場所に残していくのも一つの方法である。
3	庁舎を一つにすると言うことだが、現在の分庁舎方式のままで良いと思う。将来的には、小矢部、砺波、南砺の合併も考えられることから、統合庁舎はその時で良いのではないのか。	庁舎のあり方については、現在検討中であり、その検討動向を見ながら、また、公共施設再編計画の検討の中で考えさせていただきたい。
4	指定管理制度は契約後、3年たったらどうなるのか。また同じ管理者と契約を結ぶのか。	3年の契約となっており、3年後には再度、公募する。別の方から良い提案があれば管理者はその方になる。
5	指定管理者が、その業務で多くの収益を上げた場合、指定管理料が減らされると聞いたが、そうなのか。指定管理者が企業努力をしているのに、指定管理料を減らすのはかわいそうでないか。	そういったご意見いただいている。収入が上がったから必ず減らすものではない。一定割合努力してもらったのは指定管理者さんの利益としておかないといけない。ただどのくらいという事は言えないが、頑張られた分は考慮して指定管理料を算定させていただいている。
6	学校を統合することを踏まえた計画だと思いますが、学校は無くせないと考える。	人口が減っても残すべき施設は残さなければならない。学校も、基本的に減らさない考えだが、子供の数が減って複式でしか成り立たなくなった場合どうするのか。そういった場合のことも考えていかなければならない。
7	この計画には、県が介入しているのか。	県は特に関係ない。国から計画を作るようにとされている。
8	子供たちの動ける範疇で、年齢に応じて地域に対する愛着をつくるようしていかないと地元へ帰ってこなくなる。地域の愛着をつくることに配慮して、施設の縮減を考えてほしい。	小さいときに愛着心を育てないと帰ってこないのは間違いないと思う。ふるさと学習やふるさと教育等、南砺市のことを思う時間を作ってもらうようにしていきたい。
9	他市では幼稚園・保育園・老人福祉施設・公民館を複合化してきている事例もある。そのような縮減の考え方はあるのか。	保育園の統合については終わったと考えている。今頃になって県から複合化を進めるようにとの話しはあるが、今からでは難しい。
10	福光の福祉会館の建て直しの話があるようだが、減らすものばかりではなく、増えるものも教えていただきたい。	26年度、27年度にできたものはこの中に入っていない。桜ヶ池のクリエイタープラザ、福光の福祉会館の今後や、井波高校跡地の地域包括支援センター、城端、井波の児童館等も入っていない。
11	市民にだけ努力をしろと申しているが、市も努力しなければならないのではないのか。	市民の方にだけ努力しろと申し上げているわけではない。市では地方創生総合戦略の中で、いかに人口を減らさないようにするか、南砺市が活性化する方策を市民と共に考えている。

No.	市民の意見	対応状況
12	施設が提供するサービスも数値化してほしい。貸し館であれば、会議室はいくつあるのか。体育施設、文化施設、産業施設の中でも、会議室を持っている施設もあり、貸し部屋の総数がわかれば、そのデータを基に統合・縮減の議論ができると思う。	貸し部屋の管理は検討する。 再編計画の作成には、利用状況、コスト等に加え距離の問題もあり、これらをどのように数値化して検討するかを考えている。 また、市民の皆さんにアンケート調査を実施し、それを参考にさせていただきたいと考えている。
13	地域のコミュニティセンターを民間譲渡したとき固定資産税はどうか。	自治会に譲渡となった場合は非課税となる手続がある。
14	桜ヶ池の新しい施設は建設の必要があるのか。	議決後基本的に新たな施設は建設されないことになる。 新たな施設を建てる時は、全庁統一した考え方で建てることになり、各課で勝手に建てるということはない。それでもなお、新しいものを建てる時はその他で面積を縮減すること。また、施設の維持管理費を積み立てていく必要がある。
15	ごみ処理に多くのコストがかかっている。市民の間でも議論すべきではないか。	現在、城端、福光、平、上平、井口のごみは富山広域圏まで運んでいる。砺波市と一緒に新たな施設をつくるのか、今ある施設を修理して能力を高めて使用するのか、今の施設を丁寧に使用するのかは、まもなく結論がでる予定である。
16	計画を作る段階で知恵とエネルギーをどう集めるのか、公聴会を開くというのではなく、オープンなやり方をお願いしたい。	住民の皆さんの意見を聴いて作りたいと考えている。再編計画については総論でなく各論なので、アンケートや初期の段階から皆さんに話をさせていただき、意見を伺いたいと思っている。
17	新しいものは作れないし、古いものは解体する。それは分かるが、30年後でも新陳代謝のできる体制にしていかなければならない。この計画は、今の施設をそのまま維持管理しなさいというふうに分かれない。維持管理だけでなく、地域の活性化を考えながら施設整備も考えてほしい。	将来に渡って必要な施設は残し、類似施設で利用者数が減っている、耐用年数が来たもの等は集約を考えていくべきと考えている。 新しい施設は一切作らないということではなく、必要な施設は作らなければならない。その時に大切なのは、建物を作ると必ず維持管理経費がかかるということ。それを十分意識して施設を作っていかなければならない。
18	公民館の譲渡をされる時、今のままの状態ですべて渡されるのか。地元の負担になるような状態で渡してほしくない。	譲渡を考えているのは地域住民のみが利用する集会所施設である。譲渡の際、取り壊し費用とか修繕費用等を勘案して、必要なものは整備すべきと考えている。
19	連合婦人会ではお金がなくて事務所を持たずに、使用料を払って部屋を借りて活動している。他の団体も含めて、長屋のように借りやすい施設を残していただくと有り難い。	施設を有効に利用する観点では大事な話で、合併してそのような面で支援が無かったのも事実だと思う。まだ使えるけど廃止となる施設があった場合、皆さんに使っていただくことも含めて施設の再編を考えていきたい。
20	使用料をとれる施設はきちんととって、使用状況はどうか十分考えて、残す価値があるのかどうか、十分検討していただきたい。	しっかり調べてからでないと施設をどうすると言えないので、No.1で利用者数・使用料収入を調べている。利用者が多ければ、維持管理費を賄うことも出来るかもしれない。利用者を増やす努力をしようとか、利用料は安いのではないかと、個々の施設について利用状況、コストの面などから検討する。

No.	市民の意見	対応状況
21	図書館の短期、中期、長期の計画では、4施設減らすことになっている。本当に必要なものを見極めないといけないのではないかと思います。	全て必要というのであれば、残さなければならない。ただし、後世に負担を残さないように、年間の維持管理費を今から積み立てておかなければいけないということをご理解いただきたい。
22	実施方針の中に指定管理者制度の導入があるが、公共施設の再編と関係するのかわ。	計画の中では、指定管理者制度の導入も含めており、あらかじめ市民の皆さんに再編計画の内容をお示しし、説明会を開催して皆さんの意見を聞きながら計画を作っていく。
23	南砺市内の中学校でプールを持っているところがない。教育基本法で体育の授業で水泳が必修となっており、面積やコストだけでなく、制度的なものも考えて計画を作っていただきたい。	図書館、プール、体育館等の、多く利用されている施設は、総合管理計画の方針と再編計画の実施内容が一致しない場合も出てくるかもしれない。実際に住民の皆さんが考えるものなので、そのようなことも含めて考えていきたい。
24	30年後の孫、曾孫達にどんな夢を与えることができるのか明確にしていきたい。どのような暮らしになるとか、人口減少がゆるやかになるとか、夢のある話を聞きたい。	まち・ひと・しごと創生戦略の中で説明させていただきたい。
25	図書館の機能は、小・中学校やじょうはな座、行政センターに入っても良いのではないかと。	施設を複合化することも考えられる。2つの施設をひとつとして利用者数を増やす、市民サービスを低下させず維持管理費を安くなる方法でもあり、十分考えていく。
26	アンケートは、どのような内容でどのような方に答えてもらうか。	無作為抽出で行う。年代別で地区に偏りがないように行う。設問については、利用者中心のアンケートとなる予定で、集約すべき施設等について設問に入れる予定である。
27	人口に対する適正な面積というものはあるのか。	そういうものはない。
28	地域の人口が減り、一人当たりの負担が大きくなる中、無償譲渡であっても受けることは出来ない。ちょっと横暴じゃないか。	集落の方しか使わない施設を市役所が持つべきかどうかということである。基本的には最低限必要な修繕を行い、譲渡していただけないか交渉を進める。いつまでも市で持ち続けるわけにはいかない。
29	廃止が決定したときは、取り壊し、撤去するのにもお金がかかる。お金がかかるから、そのままにしておくというような傾向があるが、南砺市はどうするのか。	今のうちから取り壊すものは取り壊す。残しておくとも誰も使わないような施設は、危険なので取り壊していく。
30	施設を担当する部署は、ひとつにしてもらえれば有難い。	施設を管理するセクション、統括的にマネジメントする部署が必要と考えている。
31	地域別の人口は調べているのか。地域のエゴが出てくると思うが、人口が減らない地域への配慮もお願いしたい。	地域別の人口は調べている。再編計画は利用状況、コスト等を参考にして考えていきたい。
32	公営住宅が古くなってきているが、今後の計画はあるのか。	住宅マスタープランではこれ以上住宅は作らない、となっている。耐用年数がきて更新が必要になった時に集約する計画になっている。民間の住宅を借り上げるのも1つの方法と考えている。

No.	市民の意見	対応状況
33	幼・保・こども園の民営化について、労働条件が悪くなったという事例も聞く。指定管理者制度の導入については慎重にお願いしたい。また、臨時保育士が多いが、子供たちの成長の観点から正職員の雇用に努めていただきたい。	民営化、指定管理者制度については、メリット、デメリットを十分検討していきたい。 正職員の雇用は、近年、採用者数を増やしている。
34	No.1の公共施設のコスト等資料は公表したことがあるか。	今回初めて公表した。
35	施設を縮減する場合の判断材料は何なのか。	今の人たちが、文化的で健康的な生活を送るために必要な施設とは何かを踏まえた上で削減を検討していく。 利用状況、コストだけで判断するわけではなく、必要な施設は残していかなければならない。
36	現在のような、公共施設の状況をつくった原因は何なのか。今までの反省をせずに、次の計画をつくっていけない。	大量消費大量生産から縮減縮小の時代になった。 今までは、他の自治体にあるものが欲しくて、それぞれの自治体で施設を作ってきた。 30年後には何を残すべきなのか。身の丈にあった計画としていきたい。
37	まち・ひと・しごと創生総合戦略と公共施設等総合管理計画がどう関係していくのかを教えてください。	ひと・まち・しごと創生総合戦略は、人口が減らないように今後のまちづくりの取り組みを示すものであり、総合管理計画は、30年後の施設のあり方を示すものである。総合戦略の動きにより、総合管理計画を見直すこともある。
38	南砺市がどういう方向を目指すかによって、削減の考え方は変わってくると思う。どのような方向を目指していくのか、ビジョンを示してほしい。	立場上、はっきり言えないが、民間にお譲りできる施設はお譲りする。体育館、図書館等、残すべき施設は残す方向になると思う。
39	若い子供たちが帰って来ない。若い人たちがポジティブになれるように、南砺市に住むメリットを示してほしい。前向きな話はいつ聞けるのか。	ひと・まち・しごと創生総合戦略で人口が減らない施策を策定中であるので、また、お知らせする。
40	再編計画はどんなことを考えていくのか。30年後の理想の姿とは何なのか。	25万㎡の公共施設を減らすことが理想と考えている。計画どおりに縮減できなければ、残す分の施設管理費は残しておかなければならない。今後、住民アンケートをとり、住民説明会の開催、行革推進委員会等に諮って計画を作成していく。
41	分庁舎方式や行政センターはどうなるのか。	合併まちづくり計画で10年間は、分庁舎方式でやると決まっている。合併特例債で5年延びため、H31までは1つの庁舎にすることはできない。現在検討中であるが、近いうちに庁舎をどうすべきかが決まってくると思う。行政センターの窓口サービスについて残すことになると思う。
42	若い人達が使う施設は残し、また、できることであれば新たに建てることも必要だと思う。	若い人達が使う施設は当然残さなければならないと思う。若い人達の意見を聞き、今ある施設をどう利用するのか、用途変更して使うことも大事だと思っている。
43	IT等の技術を活用すれば事務手続き等が自宅で出来るようになるなど、劇的に便利になると思うがどうなのか。	マイナンバーの詳細は、まだ何も決まっていない。詳細が決まれば、そういったことも考えられると思う。

No.	市民の意見	対応状況
44	総合管理計画を策定するという事は、住民に覚悟を求めるものである。 地域に残したいものは残すとして、地域住民自らが不要な施設を切る覚悟が必要である。	おっしゃられる通りです。 住民の皆さんだけではなく、市役所も覚悟をもって取り組んでいかなければならないと考えている。
45	病院が2つあるが、3万人になっても2つ必要か疑問である。 大きな病院があるより、小さな診療所をいくつも地域に配置した方が良いのではないか。	別途、病院改革プランを作成しており、その中で検討される。
46	人口が少ないからといって、公共施設を減らさないようにしてほしい。	どのような施設が必要かを検討して、必要な施設は残します。 ただし、不要な施設は縮減し、次のステップへと進んでいかなければならない。
47	統合して建築した小中学校も、将来的には、子供たちの負担として重くのしかかることになる。	おっしゃられる通りです。 将来の負担を考えて、公共施設の再編を考えていかなければならない。
48	スキー場を廃止すると雇用がなくなるといって、雇用を確保するために年寄りから多くの税金を集めている。本当にそれで良いのか。 地域のやる気が大事なのであって、行政に頼っても無理である。	市役所としても努力はするが、住民の覚悟も必要である。
49	今回提出された資料は25年度のものであって、27年度の数値になると指定管理料が少なくなっている施設もある。 白山国立公園内にある桂湖や世界遺産を支える合掌の里等、文化的なものをどうしていいのか。是非残してほしい。	必要なものを十分検討して、残すべきものは残していきます。
50	産業系施設を民間へ譲渡していかなければいけないのは理解できるが、利賀地域では、利益を上げることが難しく、受け手があるのか心配である。 受け手がなければどうなるのか。	民間事業者が受けない場合は、原則廃止となる。 現在、第三セクターの改革プランを作成しており、どうしたら経営がよくなるかを考えている。 天竺温泉は、第三セクターで運営いただいておりますが、引き続き経営努力に取り組んでいただくと同時に、本当に必要な施設であるかどうか、今後、十分考えていかなければなりません。
51	人口で施設配置を考えられると利賀から施設がなくなってしまう。十分配慮してほしい。	公共施設再編計画は、どの施設を残すかの計画である。 どのような施設を残さなければならないのか、必要性を明らかにした上で、皆さんが納得いくようなかたちで残していかなければならない。当然、残す以上は、利用実績を上げていただくことが必要であり、財源も積み立てておく必要がある。
52	地域にあるコミュニティ施設は、地域住民の活動拠点として利用されている。譲渡との方針だが、譲渡を受けられず廃止となった場合、地域住民の活動意欲がなくなるのではないかと心配である。	コミュニティ施設は、すぐに無くすというものではないが、できるだけ受け取っていただきたいと考えている。取り壊し費用については、市で負担することができないか、財政当局に交渉したいと考えている。
53	起業家支援、農林業の支援等、行政に相談した場合、担当部局が縦割りとなっており、たらい回しにされる。市全体で支援するという体制にしてほしい。	対応した職員の質に問題があると思われる。具体的なことを教えてほしい。

No.	市民の意見	対応状況
54	原則として新規施設は建設しないとしているが、統合庁舎は新規に作らないということなのか。	現在、分庁舎方式の検証、行政センターの役割、窓口業務のあり方等について検討しており、来春には庁舎の方向性を明らかにしたいと考えている。建設面積以上の縮減をすれば新規建設は可能である。
55	アベノミクスの効果で税収増、人口増となった場合、この計画はどうなるのか。	毎年度進捗管理を行うことはもちろんであるが、大幅な状況の変化があった場合には計画を見直すことにしており、また、5年に一度は改定を行う予定である。
56	この計画を見ていると尻すぼみになる感じがする。元気になるような計画にしてほしい。	元気になる部分については、まち・ひと、しごと創生総合戦略で考えていく。8月7日のシンポジウムで説明するので、是非聞きにきてほしい。
57	再編計画策定に向けて、今後の予定はどうなっているのか。	8月から9月にかけてアンケートを実施し、その後、素案づくりを行う。新年早々に皆さんへの説明会を行い、28年度から実行に向けて取り組んでいく。
58	アンケートをとるようだが、人口が少ないところの意見は相対的に反映しづらいと思われる。人口の少ないところにも配慮してほしい。	五箇山地域は、距離の問題があり平野部とは違うと考えている。しかしながら、全てを残すわけにいかないの、どの施設を残すか十分見極めた上で、残す場合は、市民全体が納得いくようにしなければならないし、残す施設の維持管理経費を積み立てておかなければならない。
59	産業系施設を民間に売却・譲渡となっているが、採算があわない施設が多くある。売却・譲渡となると、現在施設を運営している第三セクターを維持していくのも難しくなるのではないのか。	赤字となっている施設については、廃止も考えていかなければならないが、廃止する前に、経営改革に努めてもらうことを考えている。現在、第三セクター改革プランを作成しており、その中で検討していきたい。
60	第三セクターを廃止する場合、かなりの抵抗があるのではないのか。	第三セクターの多くは、市が大きく関与しているが、その市の財政状況が厳しい状態にあり、今までのように関与していくのは無理である。第三セクターを廃止するというよりも、自立してもらうことが大切である。
61	古くなった施設を解体するとき、補助金はあるのか。また、起債は借りれるのか。	補助金は無い。起債は、借りれるが交付税措置のない単なる借金となる。
62	稼ぐ公共施設を目指すとあったが、武雄市の図書館をイメージしているのか。	武雄市の図書館をイメージしたものではないが、公共施設を民間に売却・貸与するなどし、活用してもらうことをイメージしている。
63	No2.の資料の建築年度を西暦で表してほしい。また、耐用年数も記載してほしい。	他でも同様の指摘を受けているので、そのようにしたい。
64	中央図書館を作ったときに、どうして民間委託の話はなかったのか。	建設時にはなかったが、いくつかの自治体で民間委託を行っており、南砺市においても、現在、指定管理を導入すべきかどうかについて検討している。
65	地方創生総合戦略事業と公共施設等総合管理計画は連携しているのか。	総合戦略は現在作成中の計画であり、連携はしていない。総合戦略では、新たな雇用、ビジネスを生むということを考えており、利用が少ない施設、使われていない施設を活用して民間の方、市民に稼いってもらうことを考えている。

No.	市民の意見	対応状況
66	30年の計画ということであるが、地方創生総合戦略事業の策定に伴い計画を見直すことも必要でないか。	公共施設等総合管理計画は、毎年進捗管理を行い、5年ごとに改定することを考えている。地方創生総合戦略事業の進捗によっては、見直すこともでてくるかもしれない。
67	子育てしやすい環境ということを考えると、30年後も保育園・小学校・中学校はすべて残すべきでないか。	公共施設再編計画は、何を残すべきかを定める計画であり、その中で検討していく。計画以上の施設を残すこととなった場合には、それなりの維持管理経費を将来のために積み立てておく必要がある。
68	公共施設のコスト一覧表は公開すべきである。施設利用者に、施設に係るコストを認識してもらうことにもなり、受益者負担の見直しにもつながるのではないか。	おっしゃられる通りです。今後、公開していくようにする。
69	民間譲渡する場合の、売却価格はどのようにして決めるのか。譲渡損を出してでも、施設を譲渡した方が良い場合もあるのではないか。	立場上、はっきりしたことは申し上げられないが、建物の残存価格、土地の価格等を参考に算定する。おっしゃられる通り、0円でも譲渡した方が良い場合もあると思っている。ただし、相手方が転売する恐れもあり、譲渡先の選定には慎重に行わなければならない。
70	公営企業の病院が2つあるが、今後どうしていくのか。	病院改革プランの中で検討されるものと考えている。本当に2ついるかどうかも含めて、検討されるものと思う。
71	高齢者がだんだん増えていくが、特別擁護老人ホーム等の待機者も増えているが、高齢者向けの施設を増やせないか。	国の方針が、在宅でサービス提供という方針であり、施設を建設するにも補助金をもらえない状況である。市の施策として、単独でも建設する方針が示されれば可能である。
72	耐用年数があるからといって施設を残すのではなく、利用が少ないから廃止するといったことではなく、南砺市は合併して1つの市になったのであるから、新たなまちづくり、魅力あるまちづくりを考えて、施設の配置を考えてほしい。	この計画は30年後に健全な財政運営を行うための公共施設のあり方を定める計画であり、将来の街づくりの方針を示せていない。地方創生総合戦略事業の中で、今後のまちづくり方向性について説明していきたいと考えている。
73	公共施設の縮減シミュレーションに面積が載っていると言うことは、縮減する具体的な施設が決まっているのか。	50%の施設を仮に想定してシミュレーションを行ったものであり、施設を決めているものではない。具体的な施設は、公共施設再編計画で決めていく。
74	地域に残したい施設があるが、財政的に考えると無理ということは理解できる。せつかく南砺市が1つになって頑張ろうとしているのだから、各地域の施設をどうするかというのではなく、各地域のものを壊して新しいものを1つ作るということもあっても良いので、今後のまちづくりの考え方を明らかにした上で、公共施設のあり方を示してほしい。	公共施設再編計画を作成する上で重要なことであり、公共施設再編計画の説明会できちんと説明させていただく。
75	公共施設の減価償却前の数字、残存価格等の数字も公表すべきでないか。	検討する。

2. パブリックコメントにおける意見(H27.7.24現在)

No.	市民の意見	対応状況(予定)
1	旧福野第二保育園の建物を壊して整地し松原柴田屋線の代替地とする。	代替地の候補地だと考えているが、あくまでも、移転する方の希望があればという話になる。
2	公共財産がそれなりに活用されている地域も、そうでない地域もあり、利用率、効率の悪い公共財産を廃止することで、行政支出を極力抑えるべきである。そのため、過疎地域の集落は集団移転を考えるべきであり、その具体的な移転方法を提案する。	集団移転は地域に住む住民の意志によって決められるものであり、移転の意思表示があった場合には、参考にさせていただきたい。